

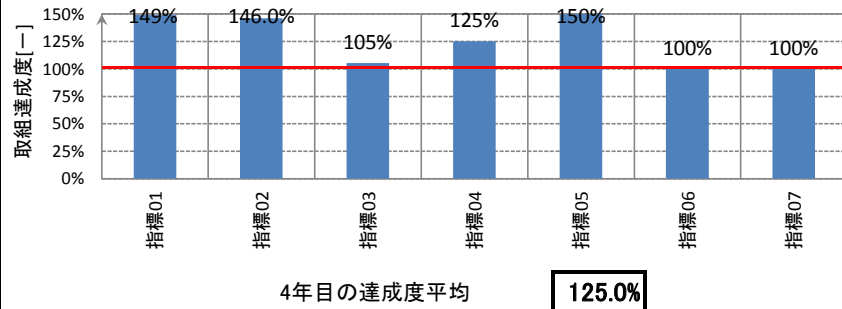
福島県 南相馬市

人口: 63,172人 (平成28年4月1日現在)  
 世帯数: 22,956世帯 (平成28年4月1日現在)  
 就業人口: 33,279人 (平成22年10月1日現在)  
 市内GDP: 2,691億円 (平成21年)  
 面積: 398.50km<sup>2</sup> (うち森林面積219.47km<sup>2</sup>)

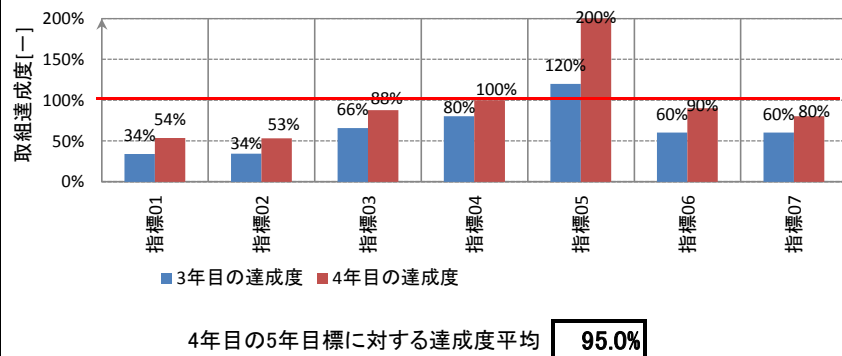
取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)

Q1. 環境的価値

1年毎の目標値に対する達成度

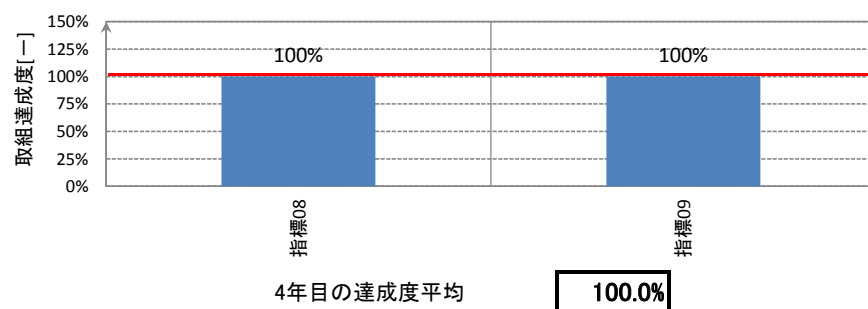


5年後の目標に対する達成度

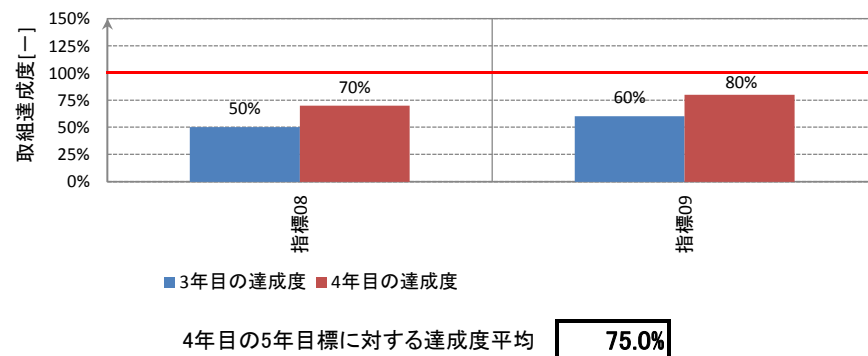


Q2. 社会的価値

1年毎の目標値に対する達成度

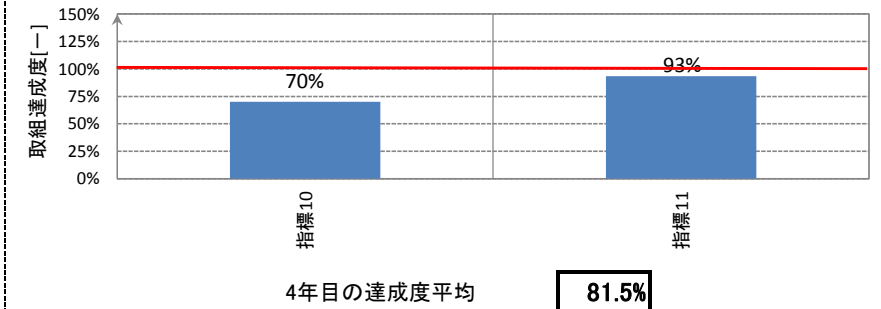


5年後の目標に対する達成度

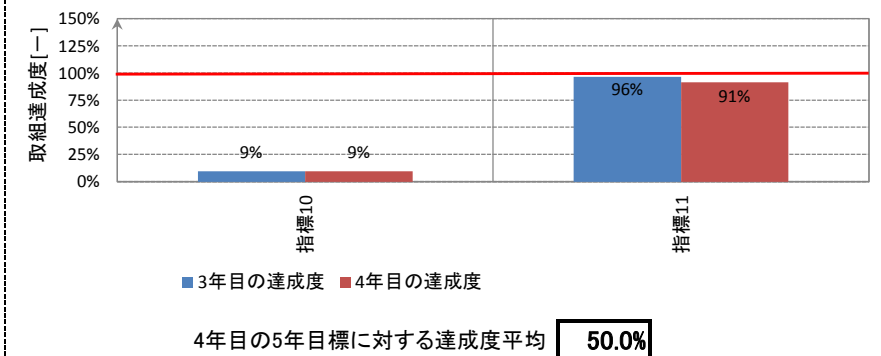


Q3. 経済的価値

1年毎の目標値に対する達成度



5年後の目標に対する達成度



指標番号

指標名

指標01	再生可能エネルギー導入比率 (%)
指標02	再生可能エネルギー発電量 (MWh)
指標03	住宅用太陽光発電設置装置に対する補助金交付件数(累計) (件)
指標04	EVの公用車導入台数 (台)
指標05	EV充電インフラの整備箇所数 (箇所)
指標06	公共施設への太陽光発電設備等の設置件数 (件)
指標07	スマートコミュニティモデル地区数 (地区)
指標08	共同施設整備数 (件)
指標09	健康支援活動実施地区数 (地区)
指標10	農業法人雇用者数 (人)
指標11	認定農業者数 (人)

Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)

横浜市との連携により環境未来都市・環境絵日記事業を実施。市内小学校(15校)を対象に作品募集を行い、応募作品を環境未来都市・環境絵日記展2015(横浜市)において展示。また、担当者会議に参加し、取組拡大に向けた意見交換を行った。

平成27年度の取組総括

- 【取組1】 再生可能エネルギー基地(太陽光発電事業及び風力発電事業)の事業用地の確保に向け各関係機関と協議を進めるとともに、鹿島地区太陽光発電事業にかかる事業者との土地賃貸借契約(約98ha)及び地域貢献の協定締結を行った。
- 【取組2】 家庭用太陽光発電設備(264件:前年比34件増)、HEMS(95件:前年比63件増)の導入促進に努めた。
- 【取組3】 EV公用車1台(累計5台)を導入するとともに、EV急速充電設備等について市HP及び広報紙等で普及啓発を図った。
- 【取組4】 公共施設の再生可能エネルギー導入促進について、設置工事(8件)を実施した。
- 【取組5】 小川町モデル地区のワークショップにおいて、共同施設、緑地等の概要を決定し、共同施設建築設計(木造平屋建 A≒72m<sup>2</sup>)を発注した。
- 【取組6】 植物工場の造成工事、建築工事(施設面積 約3.0ha)を発注した。

委員からの取組全体に関する評価

○厳しい復興計画の中で継続的な努力を続けているが、1次産業の再生などで着実に成果が上がっている点を評価する。今後は、農業分野をはじめとする経済的価値における一層の活性化や、将来像を描きつつ多様な取組のポイントを明確に絞っていく事、更には各々の事業の相互連携/シナジー効果を期待する。  
 ○エネルギー、ロボット研究事業の誘致や立ち上げに成功しており、避難指示区域解除後の経済的価値への波及を期待する。ロボットのまちとして持続的な発展を実現するには、拠点施設の立地に留まることなく、それを核として関連のスタートアップ企業の創造や育成が重要となるため、市として能動的に推進いただくことを期待する。  
 ○コンセプトである「世代間循環」について、世代別々ではなく世代をまたいだ取組にするためにも、その在り方について、今一度検討を期待する。  
 ○経済的な評価の際に悩ましいのは、失業率2%でできることは限られているということ。まずは人口増加施策が重要。人口増加は市の経済価値を高め、新規事業の誕生を促す。提案としては、外部のオピニオングループから南相馬市に関して、アイデアや意見を集め、それをもとに人口流入促進プランを策定してはどうか。外部からのアイデアは、新鮮で新しい角度で何かが見える可能性がある。